

# 平成 29 年度沖縄県青年リーダー研修会 アンケート記述欄

平成 29 年 7 月 15 日（土）・16 日（日）

※原文のまま（誤字等を除く。）掲載しております。

## 1 設問 15「選挙における啓発事業として、何かアイデアがあれば、教えてください。」

- 教育現場で出前講座をする。
- 「選挙は何のためにするのか？」の講演会等を行う。
- 政治家のお話をもっと聞いてみたい。
- 学生も楽しく学ぶ事が出来る選挙疑似体験
- ミニ講演会を開催する。
- 若者や仕事で忙しい人に対して行っていくべき。
- 選挙による映画など・・・
- 教育機関を通して、子供のころから選挙や政治にふれる。
- 学校教育で模擬選挙など体験型学習を行う。
- 政治と生活に興味を持ってもらう。
- 越智さんの講演で出てきた「まちづくりゲーム」

## 2 設問 17「『講演』をとおして感じたことや質問・要望などを自由にご記入下さい。」

- 自分達も“楽しく”政治について考える活動を展開したいと思った！！
- 県での研修会だけでなく、公民館や学校などで講演してほしいです！
- 「選挙」と「社会」のつながりについて気づくことができた。
- 久しぶりに刺激をもらえる講演会だった。ぜひそういった活動が沖縄でも展開できればいいのでは。（沖縄の問題に合わせた形で）
- とてもタメになり、今後に生かしていきたいなと思いました。
- 自分から動くことの大切さ
- 民意を反映するため、選挙の重要性を改めて実感した。
- 身近な世の中から考え、自分の考えをもち進化する。
- 高校生が小学生へ社会のあり方を教えるボランティアはとてもおもしろく、双方にとって良い機関だと思いました。
- シティズンシップ教育非常に勉強になりました。まさにアクティブラーニングを取り入れた素晴らしい学習方法だと思います。参考にさせていただきます。
- 社会・政治・選挙についてもっと知りたいし、実際にこどもタウンやよのなかレッスンを体験してみたいと思った。
- 積極的な政治参加する意識が必要と思った。

- 主権者教育は総合的な教育につながると感じた。(社会のいろいろな要素を学べる)
- 自分の問題として身近に考える事ができたので良かったです。もう少し時間を長く講演をききたかった。
- 勉強になりました。

### 3 設問 19 「『政見発表会』をとおして感じたことや質問・要望などを自由にご記入下さい。」

- なかなか、うかがえないざん新なアイデアを聞くことが出来て良かった。
- 政党間の違いがあまり分からなかった。
- 具体的にもっと一步踏み込んだ政策を聞けなかったのは残念。しかし、各政党がどのようなことを重視するか考えは少し分かった。
- 本物の議員さんが目の前で話してて良い体験になった。各政党の考え方の違いが良く分かった。
- 自分の言いたいことを満足に言えなかったので悔しかったけど、楽しかったです。
- 政党によって意見が異なっていて、正解は1つではないということを知った。
- 政治家の意見を生で聞けて良かったです。
- 政見発表会の時間が短く、重要な所まで話せてない。
- 政治家のお話しを間近で聞くことができとても貴重な経験でした。
- 各政党の考え方を少し理解でき、良い機会でした。なぜ、具体的な案や策については発言を控えたのでしょうか。
- もっと時間が欲しかった。
- 有権者の自覚が必要だと思った。
- 各者、総じて真剣に答えていたのが印象に残った。学生を始め研修参加者がするどい質問をしていたのも良かった。
- もっと時間をさいてほしい。

### 4 設問 21 「『ワークショップ』を通して感じたことや講師への質問などを自由にご記入ください。」

- いろいろ考える機会をもてて良かった！！
- 政策決定の難しさを感じることができた。
- 実際、県の立場から県民の幸福を満たしつつ、経済発展、日本に貢献する政策を考えるのは難しかった。
- 自分たちで実際に政策などを考えて、演説して投票して楽しく学ぶ事ができたのでとても良かった。
- 時間が足りなかったなと思いました。

- 選挙運動を体験してみて、政治の難しさを感じた。
- 当選したかったです。
- 自分の意見を伝える難しさ、知識がまだまだ足りない。
- 即席の模擬知事選挙ですらこんなに大変であるので実際の知事選挙活動の大変さが計り知れないです。
- 難しかったけど、未来の沖縄について考えることができ、これからの沖縄をどうしていくべきかについて改めて考える必要があると感じた。
- 時間が短くもう少し増やして欲しい。
- グループの協力体制が弱かった。
- みんなで話し合いながら、それぞれの意見もきき、良い案を出し合うのほとても楽しかったです。
- 政治家と話す時間を増やしてほしい。

## 5 自由意見記入欄「本研修についての感想をお聞かせください。」

- 研修に参加する中で、グループの人や、委員の方々との世代を超えた交流を通して、自らの知見を広めることにもつながったり、知らなかったことを知れたことが、すごく貴重な経験になりました。講演や政党のみなさんの施策を聞く中でも、自分達の住む地域が今からどのような道を歩もうとしていて、自分はどうしたいのか、何が出来るのか考えさせられました。この体験から、自分の周辺の人々に伝え我々から、地域を沖縄を日本を世界を変えていこう！！と思います。
- 今回2度目の参加となりました。  
「観光客一人あたり消費単価を引き上げるためにどのような取り組みが必要か」という課題を通して、県内で考えると、ブランド化を計画したりだとか、魅力をぶつける上で、観光客の滞在日数を大幅に増やし、ニーズに応じて建設所を建てるとか、自分達の想像している中で、数えきれないほど学ぶ事がありました。

商品であれば、紅いもタルトやちんすこうなどといった沖縄特産物土産品の開発、伝統であればエイサーや空手など、誘致できるアイデア、CM、PRを元に制作したり、今も問題となっている基地問題を通してテーマパークをつくりあげたら、もっと沖縄に来たがるのではないかと思いました。

ワークショップでは、自分が一番なさけない気持ちにもなりましたが、大学生の先輩方や市役所の方々に支えられて、沢山話し合いも出来て、テーマに沿って、意見を出し合って、比べ合って、あちこちありましたが、取り組みにしっかり出来ていたのも、とても感謝しています。

この学んできた事を生かして、家族や地域だけでなく、学校内や先生など話し合って、選挙に関する意欲を応援すべく、講演会を開催したり、ワークショ

ップ、ワールドカフェなど、グループ活動をしていきたいなと思います。

- 「政党」「選挙」「政策」といった、これまで知識や単語としてしか見えなかった世界と、これらのつながりや、その内容の深さや濃さといった点の、また違った世界を見ることができ、またその点についてより疑問や考えることが増えた気がします。例えば、政策作りにおいては、住民や国民が豊かになるということを常に考えながらも、観光業や他の外的・内的要因も生かす方法を考えなければならないという、とても複雑で互いの利益なども考慮するという難しさを実感することができた。その中で、住民や国民の意見をただ反映しろしろと言うだけではなにも起こることはなく、政策をつくるということにも困難があり、ある程度政治や選挙について、住民も理解していく必要があるのではないか、と考えました。これを機に、この経験を生かせるようにしたいです。
- 政治や選挙についてさらに深く考える踏み台となったのではないかと考える。NPO団体NEXT CONNECTIONは教育の面、これから日本の未来を担ってもらおう子どもに社会への関心を高める教育の実践としてとても斬新な企画であると感じた。ぜひ沖縄にもこういった企画がもっとあればいいと思う。政見発表会ではいろんな政党の話聞きそれぞれの違いは感じたものの、もっと具体的な政策を聞きたかった。ワークショップを通して、実際に政策を考えたことで、これから選挙をする際にどのようなことを重視するか自分の中で少しずつ確立された気がする。この経験を活かして今後政治について考えていきたいし、また周りの友だちにも伝え、広められるようにしたい。(政治意識の向上として)今後の明推協の活動にも積極的に参加していきたいと思う。貴重な経験をさせていただき大変ありがとうございました。
- 政治や選挙に関心があり、何かのキッカケになればと思い、参加しました。講演では、越智さんの活動を知って、自分も学生のうちに何か出来る事はないかなと思いました。食事の時に越智さんのお話を色々聞いて、すごくタメになりました。ぜひヤングコネクションの高校生たちと交流出来たらいいなと思います。政見発表会では、各政党の考え方を聞いて、とても良い体験ができました。政党によって全然違う考え方で、とてもおもしろかったです。ワークショップでは実際に政党に入り、それぞれの職務につき、皆で政策や意見を出し合い、政治家の大変さを知りました。また、投票して、開票立会人になり、楽しく学べたので良かったです。今回研修会に参加して本当に良かったです。社会人や他の学校の人たち、委員会の人たちとお話しできた事も良い経験になりました。今回学んだ事を今後生かしていきたいです。
- NPO法人の方がいらしてくれて、人々と社会をつなぐ運動をしていることがわかりました。とてもわかりやすく、楽しく学ぶということをモットーにし

ていて、それはとても新しく興味深いなと思いました。ワークショップでは、短い時間での発表がとてもむずかしかったです。政治家に対して嫌なイメージもありましたが、今回、たくさんの政治家の方が来てくださったのでちょっとイメージが良くなりました。

ワークショップで、政策を考えるのはとてもむずかしいことがわかりました。国民の私たちも考えるべきことややるべきことはたくさんあるのだな、とわかりました。観光客の目線に立つだけでなく、県民のために何ができるのか、優先順位をどうするのか、いろいろ折れないといけない部分が多くて、ちょっと苦しかったです。でも、折れながらも協力していい案ができたと思うので、楽しかったです。ありがとうございました。

○ 研修会の間で、政治と選挙についての理解が深まり、身近に感じられるようになりました。また、グループワークを通して、自分の考えていることを分かりやすい言葉で伝えることと、意見を出し合いまとめていくことの難しさを痛感しました。今回、この研修会に参加して、様々な知見を広げることができ、自分自身への課題も見つけられたという点で大変良い経験をしたと思っています。有意義な時間でした。ありがとうございました。

○ 今回研修を通じて、越智さんの講話から主権者教育について学び、子ども達に今の世の中につなげて社会について興味を広げるような活動が大事だと感じました。また、政治の難しさや、いろんな考え方などを知ることができた。これをこれからの生活でも活かしていき、また周囲の方々に伝えていきたいと思いました。

○ 私は、有権者なのにもかかわらず選挙に一度も参加した事がなくどのような仕組みなのかも分かっていませんでした。

しかし、この企画に参加してみて、一票の大切さ、選挙の大切さを実感しました。

私の周りの友達選挙に行く人が少ないので、私が一泊二日を通して学んだ事を伝えられたら良いと考えます。また、このような企画がある事を知らない人もいますので、ゼミ、サークル、アルバイトなどを通して発信していきたいです。

○ 今回、沖縄県青年リーダー研修会に初めて参加し、政治について考える機会を通し、若者の政治参加について学んだ。勉強することに対し、何のためにするのかについて日常の中で考えない疑問をもち、自分が納得する考え、多様な意見を聴き、納得する答え（納得解）をもって答えを見つけることの大切さを学んだ。また知識には2つあり、基礎的知識（教科書で得た知識）と実践的な感覚（思考力、表現力、学習持続力、他人の関係性を育てる、教科書知識の運用）の2つが知識を高めることを知り、基礎的知識だけ鍛えていることに気づき新たな発見がありました。政見発表会では、政党によって色が違い自分達が

どの立場、どの目的があるのかが明確に出ていた。しかし、政党の意見発表はあまりに時間が短く、深くまで意見を聞くことができなかつたと考える。もっと政党の政見発表を聞ける時間を伸ばしてほしい。

ワークショップは、自分達はなにがしたいのか、なにをするのか、を考えるとところから始まり、慣れない中でも自分達の考えをまとめ、普段おもいつかないような意見も出たり、驚いた。つぎの機会も参加できたらしたいと考えます。

- 最初の越智さんの講演会は、とてもおもしろくて、NPO法人がこのような子ども達に“生きた社会の授業”を開講している事を知らなかつたので、今回、この活動を知る事ができてとても刺激を受けました。

政見発表会では、政治家の方々の「沖縄県が潤う観光振興策について」の意見は、一つのテーマにこんなにも各々、独自の視点からの意見があり、こういう考え方もあるのだなあと感じかされる事ばかりでした。特に、クルーズ船で来る外国人観光客の滞在時間はたったの9時間と知り、とても驚きました。沖縄県議会会派おきなわさんの新垣光栄さんの沖縄県を遊園地ではなくテーマパークにするという考えはとても斬新で、おもしろい発想だと思いました。また、一方で民進党沖縄県総支部連合会の清水磨男さんは夢ばかり語るのではなく、何をしたいのかを沖縄県全体ではっきりさせる必要があるとおっしゃっていたので、さまざまな意見があり、とても感心しました。

ワークショップは、話し合いは楽しくて、ためになりました。

- 今回のこの研修は私にとって非常に有意義で素晴らしい実りある経験になりました。まず、講話では“オチセン”の方からシティズンシップ教育の話をしていただき、公民科の高校教師を目指す私にとって非常に勉強になりました。

政見発表会では、各政党の雰囲気や考え方を知ることができて良かったです。沖縄県民に観光地としてやっていく覚悟があるのかという清水さんの発言はなるほど、確かにその前提の核の部分の議論が抜け落ちていたかもしれないと思いました。

今回の研修を通して政治に興味を持つことができました。

このような素晴らしい研修を開催して頂き本当にありがとうございました。

- 昨年も参加し、とても良い経験が出来たため、今年も参加したが、昨年よりも充実した時間を過ごすことができた。政見発表会とワークショップを繋げることで、政治家が考えていることと、私たちが考えることの違いや共通点を知ることができ、次の選挙からは、候補者の選び方を改め、今後の沖縄について、自分の意見と一致する政治家を選びたいと思った。

- 各政党の政見を聞いた事はとても勉強になりました。しかし質問に対してあやふやな回答も多く、せつかくの機会なのでもっと具体的な答えを聞きたいと感じました。

ワークショップではメンバーと議論を通して多くの意見交換が出来たので、

次回からはワークショップの時間を多めに取って頂きたいです。

今回の内容は初対面のメンバーでやるには少し難しいと感じたので、前々回のようなまちづくりゲームをまたやってみたいです。

- 政見発表で各政治家の意見を生で聞いたのは良かったと思います。自分の意見をしっかり人に伝える力があってすごいなと思いました。私も自分の思っていることや考えを伝えることができる人になりたいです。

ワークショップでは、グループに分かれて、それぞれで自分たちが知事になったら、どんな政策をしたいのか考えるのがとても大変でした。自分1人だけではとても難しく、グループのメンバーの協力がすごく大切なんだと気づきました。自分の力不足もあったが、グループ内での意見がまとまらず、政策が固まらなかったのが残念です。それが選挙で負けた大きな原因だと思います。

この研修で学んだことは、たくさんありますが、1番は、このプログラムを通して、政治や選挙に対する関心が高まったのではないかと思います。そして、様々な人たちの意見や考え、交流ができて、すごく有意義な時間をすごせたと思いました。

- 職務の性質上、直接政治家の話聞くことが難しいが、今研修のように、多くの政党・会派が一同に会し、公開の場で政見発表会が開かれると参加のハードルが下がると感じた。

ワークショップでは、下の世代の仲間と討論したことが、新鮮だった。頭が固くなっているなど感じた。

自身の行政実務の中でも今後、協働の面から、市民参加型のワークショップを開く機会もでてくるかと思うが、適切な情報提供をしつつ、誘導しすぎない進行をするための練習にもなった。

- <各政党の政見をきいて>

テーマについてちゃんとした意見を持った政党でも、具体的な内容については、近い考えをもったところがあったり、全然異なった意見であったり、とても色んな意見があり、勉強になりました。

また、テーマについて疑問をなげかけたり、そもそもテーマ自体間違ってるんじゃないかとの意見があり、本当に党によって全然違うことがわかりました。

<ワークショップについて>

各グループに委員の方がついてくれて、メンバーが悩んだ時や話が進まなくなった時などにアドバイス等をくれてスムーズに進めていく事ができた。又、メンバーが学生という事もありとっても新鮮な意見がたくさんでて、ワークショップを通じて新たな考えを知る事や、違った視点でみることを改めて気づかされた。非常に楽しくでき、良かった。

- 現役大学生ならではの発想（柔軟な）が刺激になり、また、年の離れた方との関わり方等、学びとなりました。

これから同じ世代へ選挙の推進をしていく上では、この研修の中で、社会人や同年代の方と意見交換できたら、更によかったと感じます。

今回の研修で学び得たことを、久米島に伝えていきたいと思います。

ありがとうございました。

- 県議の話聞ける機会は、とても貴重でなかなか出来ない体験。とても勉強になりました。

政見発表会的な機会や時間をもっと増やしてほしい。